

■ 工学部

建設学科
建築学コース 教育プログラム・シラバス

取得学位の名称
◆学士（工学）

プログラムの概要

建設学科建築学コースは、幅広い知識と高度な専門技術を有する建築家・建築技術者・研究者および教育者の育成を目的としています。わが国で建築学と呼ばれている分野は非常に多岐にわたり、国土計画・地域計画・都市計画・建築計画・建築設計・建築意匠・建築環境工学・建築設備・建築構造・建築防災・建築材料・建築構法・建築経営・建築史などの分野があります。一級建築士や技術士の国家試験の受験には、これら建築全般にわたる知識と設計の能力が要求されます。

修了認定の基準（ディプロマ・ポリシー）

建築学コースでは、ディプロマポリシーとなる以下の9つの学修・教育目標を定めています。

1. 科学技術に対する共通のリテラシーを身に付ける
2. 多様な主体との間で意思疎通が図れる能力を身に付ける
3. 人間と社会に関する教養を身に付ける
4. 建築技術者としての倫理観を養う
5. 自然現象のメカニズムを理解し、建築技術に活かす能力を身につける
6. 人間および社会の要求・条件を理解し、建築空間・環境・制度を構築する能力を身に付ける
7. 資源活用と建設プロセスを構想し、建築として実現する能力を身に付ける
8. 歴史文化を尊重し、目標を立てて建築を創造するデザイン能力を身に付ける
9. 工学と芸術のバランスのとれた感性を磨く

この学修・教育目標に沿って、定められた規程分野ごとに単位を修得する必要があります。

履修条件（アドミッション・ポリシー）

1. 求める学生像
 - (1) 建設の専門技術を学ぶために必要な幅広い基礎学力を有する人
 - (2) 人間生活・社会・自然を含む地球環境と建築との関わりを学ぶ熱意がある人
 - (3) 歴史・文化・芸術を活かした空間創造を追求する意欲のある人
2. 入学者選抜の基本方針
 - (1) 高等学校の教育課程を尊重し、基本的な学力と思考力を備えているかどうかを重視します。
 - (2) 建築系分野に対する熱意と理数系分野に対する能力を評価の対象とします。
 - (3) 主体的な姿勢、論理的思考力、空間的把握能力、表現力、コミュニケーション能力なども考慮して評価します。

学修・教育目標を達成するためのカリキュラム方針（カリキュラム・ポリシー）

建築学コースでは、数学、物理学などの理数系基礎科目、英語や情報処理基礎、そして人文科学系、社会科学系、自然科学系および健康科学系の科目などを履修することで、社会人・技術者としての幅広い教養とリテラシーを身につけ、専門科目履修のための基礎を形成します。これらは主に1～2年次に履修します。

建築学コースの専門科目は主に2年次以降であり、必修科目と選択科目とから構成されます。必修科目は、建築学全般について基本的事項を学修するためのものであり、定められた全ての科目を履修するように学問上の体系と学修の順序が考慮されています。選択科目は、やや専門化した分野について学修するためのもので、上記のような各専門技術者向きの内容の選択を可能にし、各自の将来の進路に適した知見が修得できるように構成されています。卒業設計と卒業論文の両方が必修科目であることが特徴であり、修得した幅広い建築に関する知識の集大成として卒業設計を行い、各自でテーマを定めて修得した高度な専門技術を発展させて卒業論文をまとめます。

工学部建設学科建築学コース・カリキュラムツリー

学年次	一年次		二年次		三年次		四年次	学修・教育目標
	前期	後期	前期	後期	前期	後期		
学部基礎科目または基礎教育科目	Integrated English I A・I B 情報処理基礎 スポーツと健康 微積分学及演習 I	Integrated English II A・II B	Advanced English I (IR)	Advanced English I (IR)			現代社会で活躍する人のリテラシーを培う	(1)科学技術に対する共通的リテラシーを身に付ける
	人文科学系科目・社会科学系科目・自然科学系科目・健康科学系科目・総合系科目・初習外国語系科目・基礎キャリア教育科目	微積分学及演習 II	新入生セミナー					(2)多様な主体との間で意思疎通が図れる能力を身に付ける
工学のあり方と専門の基礎を学ぶ	線形代数及演習 I 力学 基礎化学 I・同 II	線形代数及演習 II 波動・熱力学 基礎材料化学 A・同 B	常微分方程式及演習 複素関数論及演習 統計・確率 II 物理学実験、原子物理学	常微分方程式、情報理論、数値解析 量子物理学	振動論、計画数学 統計物理学	創成プロジェクト実践 I 経営工学序論	工学のあり方と専門の基礎を学ぶ	(3)人間と社会に関する教養を身に付ける
	創成工学実践	他学科の概論	ものづくり実践講義			創成プロジェクト実践 II 経営工学序論 工業日本語基礎 II		(4)建築技術者としての倫理観を養う
建設学基礎と応用を学ぶ	建設学序論	建築情報デザイン	測量学	建築情報デザイン	工業日本語基礎 I・II 建築法規 インターンシップ	工業日本語基礎 I 工業日本語応用	建設学基礎と応用を学ぶ	(5)自然現象のメカニズムを理解し、建築技術に活かす能力を身に付ける
	建設図学 I	建設図学 II	建設設計製図 I・同 II	建設設計製図 III 建築計画学 I 建築計画学 II	建設設計製図 IV 建築設計製図 V 建築計画学 III 建築計画学 IV 都市計画	建築デザイン 歴史意匠 III ※1 構造設計論 ※2 鉄筋コンクリート構造 鉄骨構造		(6)人間および社会の要求・条件を理解し、建築空間・環境・制度を構想する能力を身に付ける
建築学基礎と応用を学ぶ	建築構造力学 I 建築構造力学演習 I	建築構造力学 II 建築構造力学演習 II	建築構造力学 I 建築構造力学演習 I	建築構造力学 II 建築構造力学演習 II	建築構造力学 III 建築構造力学演習 III	建築構造力学 IV 建築構造力学演習 IV	建築学基礎と応用を学ぶ	(7)資源活用と建設プロセスを構想し、建築として実現する能力を身に付ける
	建築環境 建築設備	建築材料 建築構法	建築環境実験 設備工学 I 設備設計論 ※1	建築環境実験 設備工学 II 設備設計論 ※1	建築環境実験 設備工学 III 設備設計論 ※1	建築環境実験 設備工学 III 設備設計論 ※1		(8)歴史文化を尊重し、目標を立てて建築を創造するデザイン能力を身に付ける
建設学科建築学コース専門科目			環境工学 I 構法設計 建築材料 I 建築構法	環境工学 II 設備工学 I 建築材料 II 建築構法	環境工学 III 設備工学 I 建築材料 II 建築構法	卒業設計・卒業論文	建設学科建築学コース専門科目	(9)工学と芸術のバランスのとれた感性を磨く
			基礎段階	基礎段階	基礎段階	応用段階		総合段階

※1は奇数年間講、※2は偶数年間講